

第4回部会意見

(敬称略)

部会及び氏名	意 見 内 容
担い手対策部会 小川 邦里実	『検討項目 1 配偶者対策』 <u>課題 1 男性・女性農業後継者の配偶者確保対策</u> 最近の若い人は「人とコミュニケーションをとるのが苦手」な人や「人と会うのがめんどくさい」という人がいるので婚活にも興味が持てないのかと思います。 イベントを行うにしても婚活をメインとすると尻ごみしてしまうかもしれませんね。 若い人達の異業種交流会を開いて農業のアピールをしたり、他の職種の話をきくことにより意識が変わっていくのではないかと思います。 『検討項目 2 多様な担い手確保対策』 <u>課題 2 農業研修制度の充実と研修農家の育成</u> 農業は1年で覚えられるものではないので研修も数年行うことが必要なのかも… その場合、農閑期はどうするか（畑作の場合）考えるのも必要。 <u>課題 4 新規就農者への支援（農家子弟）</u> 農業は同じ土地で何十年も過ごすため、周りとの繋がりが重要。個を好む傾向になってきている若い人の団体や組織離れを防ぐには、本人はもちろん親世代の意識改革も必要なのかも… <u>課題 5 多様な農業後継者の確保</u> 多様な後継者を確保するにあたり、実習やマッチングは重要ですが、のちのちのことを考えてその地域の農家にも快く受け入れてくれるような働きかけも必要なのでは!?もちろん後継者の方も地域での集まりには顔を出すなど、お互い繋がりを持とうとする意識は必要だと思います。 『検討項目 3 労働力確保対策』 <u>課題 2 農福連携の推進</u> 農家へしっかり説明して理解してもらうことは重要です。障がい者と農家のマッチングでも障がい者の特性がわかっていて、かつ農作業のこともわかる人が一緒に作業してくれるとお互いに安心なのではないでしょうか？

部会及び氏名	意見内容
新戦略部会 藤井 雅俊	『検討項目 1 食農及び地産地消推進』 課題 1 食育・食農推進活動の活性化 ・ 学校と連携した食育のすすめ(幼稚園から高校・大学)地元 JA の協力。 ・ 一般社団法人日本食農連携機構との連携。 ・ 地元有力農家の協力を得て収穫、調理までの研修制度の確立。 課題 2 食農教育の指導者不足 ・ 学校における食農教育強化(農家さんだけではない)。 ・ 若手、2 代目営農者への食農教育と指導者としての育成。 課題 3 町民の地場産農畜産消費促進 ・ 愛菜屋、なまら十勝野様を参考に地元産を地元住民に食べて頂く試みと工夫。 『検討項目 2 6 次産業化等推進』 課題 1 町としての 6 次産業化支援策の方向性の決定 ・ プロのアドバイス、コンサル、アドバイザー、その道のプロの意見や指導をしっかり受けて事業をすすめる。 ・ 採算性、金融機関等によく相談しながら、綿密な事業計画の策定。 ・ 個別より、集団(農家さんが共同で出資)で事業化をはかっていく。リスク分散。